

提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

案 件 名：第二次あきる野市子ども読書活動推進計画

募 集 期 間：平成25年2月15日（金）～平成25年2月28日（木）

意見等提出件数：3件（提出者2名）

第二次あきる野市子ども読書活動計画（案）に対する意見募集にご意見ありがとうございました。

以下のとおり、ご意見の概要と市の考え方について、ご紹介させていただきます。

項 目	意見の概要	市の考え方
計画策定の目的について	「豊かな言葉、考える力をはぐくむ」ことを計画の目的とすべき。	本計画は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないとする「子ども読書活動推進に関する法律」の趣旨を実現することを目的としています。
中学生の読書離れへの対策	中学生こそ読書推進事業の最も中心的な対象者である。その対策として①ヤングアダルトコーナーの充実②国語力に応じた授業をする③公共図書館を公教育のなかでもっと使っていく	第二次計画では中高生を対象にした事業の充実を基本目標の一つとし、市内の各課や関係施設で、様々な取組を積極的に行っていきます。
子どもが読書に親しむ習慣をつけるために	YA向けの蔵書の選書は、内容や質について十分な配慮が必要。 学校では、学校図書館の運営の充実や読み聞かせボランティア活動の情報を共有するなど今後活かせる工夫をして欲しい。 児童書のカウンターには司書の資格と高い意識のある人を配置して欲しい。	本計画の具体的な取組のなかで、ご意見を参考にさせていただきます。